

年次大会

原子力産業の発足以来10年を経過し、原子力発電を主体とする各分野の原子力開発が軌道に乗り、原子力はさらに今後大規模な中核的産業を形造るに至るものと予測されるに至った。このような時期において原産は文字通りこれら原子力産業のフォーラムとして広く関係各界の意見が開陳され、集約される場となることが必要となり、その面での役割は益々重要となってきた。現在国内の各原子力機関による定期的会合は、研究関係のものとしては日本原子力学会の年会分科会及び同学会が中心となっていて多数関連学協会の共催の下に行なわれている原子力総合シンポジウムがあり、さらに原研、原燃等の年次研究成果発表会などがある。さらにアイソトープ分野に関する研究面では原産主催RI協会共催の日本アイソトープ会議が開催されてきている。